



8月特別企画！

横断的な学び×SDGs×探究

AIは敵か、味方か？

人文社会学類



人文社会学類



近年AIが社会のしくみのなかに取り入れられています。社会課題の解決にAIが期待されていますが、他方でAIが人々の仕事を奪うという不安を多くの人が感じています。われわれはAIとどのように付き合っていけばいいのでしょうか。このプログラムでは、情報科学を専門とする教員とメディア研究を専門とする教員がAIと社会との関係について話題提供してくれます。AIに関する異なる議論に接することで、みなさんのAIに対する理解をさらに深めてもらえればと思います。

気になる子どもと仲良くするためには どうすれば良いの？

子ども学類



心理学類



どこか普通の子とはちょっと違う...保育園や幼稚園には「気になる子ども」が増えていると言われています。みなさんのクラスにもそのようなお友だちがいませんでしたか？本当は仲良く遊びたいのになかなか上手く関われなかったという方も多かったのではないのでしょうか。今回は、気になる子どもの保育事例を子ども学類教員が紹介し、心理学類教員が心理学の視点から解説します。子どもの健やかなる育ちを育むために、子ども理解（心理学）と保育者の関わり方（保育学）を一緒に考えていきましょう。

“障害”を越えてお互いを 理解するためには？

学校教育学類



心理学類



みなさんは“障害”と聞くとどんなイメージをもつでしょうか？学校教育学類では、障害の有無に関わらず共にスポーツを楽しむことができるイベントである“インクルーシブスポーツキャラバン”の企画・運営に取り組んできました。障害のある子どもたちや、その保護者との交流を通じて、参加する大学生の“障害”に対する捉え方も少しずつ変わってきました。そのプロセスについて、学校教育学類教員と心理学類教員が心理学的な観点から考えます。

「食品開発論」で商品企画

～地場の食材をいかした飲食店メニューの開発・販売

健康栄養学類



人文社会学類



食品開発論は「食生活の多様化の中で、消費者のニーズをとらえ、新しい食品・メニューを企画・開発する過程を、実例を含めて学ぶ」がテーマです。経営学の教員と食品学の教員が、専門領域の視点から食品開発に必要な知識や課題を提供します。今回の講義では、昨年度の食品開発論をご紹介しますとともに、授業で地場の食材を生かした新しいスペイン風メニューの開発に取り組んだ学生が、課外活動として、名取市内の飲食店でメニュー販売へ向け取り組みを継続しているので、その活動を報告します。

申し込む